



RIHGA ROYAL HOTELS

2025年3月期 決算説明会

2025年5月26日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713

agenda

株式会社ロイヤルホテル

2025年3月期 決算説明会



1. 2025年3月期 決算概要
2. 2026年3月期 業績予想
3. 変化のはじまるロイヤルホテル
4. 中期経営計画の進捗状況
5. Appendix



1. 2025年3月期 決算概要

2025年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

|| 費用先行で上期営業赤字も、下期で挽回。（株）芝パークホテル（以下SPH社）の連結化もあり、大幅増収増益を達成。

|| SPH社子会社化に伴う、負ののれんの特別利益を計上し当期利益大幅増益。

単位：百万円

2024/3期		2025/3期			前期比	
		期初予想	2025/2/14 修正後予想	実績	増減額	増減率(%)
売上高	20,668	23,100	25,100	25,164	4,495	21.8
営業利益	557	700	900	912	355	63.7
経常利益	587	300	800	796	208	35.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	901	100	1,800	1,737	836	92.8

※(株)芝パークホテルについては2024年10月～2025年3月の6か月間を連結計上しております。

|| 販売可能な客室1室あたりの収益の上昇に加え、原料値上がりの転嫁等により売上総利益率向上、人件費含めた各種コスト増を吸収し計画通りの営業利益を達成。

|| 営業外費用で匿名組合出資損、特別損失で減損損失をそれぞれ計上。

単位：百万円

	2024/3期末	2025/3期末	増減額	増減率 (%)
売上高	20,668	25,164	4,495	21.8
売上原価	3,609	4,088	478	13.3
売上総利益	17,059	21,076	4,016	23.5
販管費	16,501	20,163	3,661	22.2
営業損益	557	912	355	63.7
営業外収益	74	70	△3	△5.3
営業外費用	43	186	143	326.6
経常損益	587	796	208	35.4
特別利益	104	1,481	1,377	1,323.5
特別損失	137	220	83	60.6
税金等調整当期純利益	554	2,057	1,502	270.8
法人税等合計	△346	231	578	—
非支配株主に帰属する当期純利益	0	99	99	—
親会社株主に帰属する当期純損益	901	1,737	836	92.8

|| 客室部門は、SPH社の連結影響で大幅増収。SPH社を除く既存ホテルでも客数・単価ともに伸長。

|| 宴会・食堂部門は単価アップを進め、婚礼を除く一般宴会・レストランは概ねコロナ禍前の水準まで回復。

単位：百万円

	2024/3期	2025/3期	増減額	増減率（%）
売上高	20,668	25,164	4,495	21.8
客室	7,153	10,294	3,140	43.9
宴会	4,689	5,468	779	16.6
食堂	2,901	3,518	617	21.3
その他	5,924	5,882	△42	△0.7



2025年3月期 連結貸借対照表

|| SPH社所有のホテル不動産の時価評価により有形固定資産及び固定負債（繰延税金負債等）が増加。

|| 自己資本比率56%を維持し、豊富な現金及び預金を保有。今後の成長投資に備えた財務体質を維持。

単位：百万円

	2024/3期末	2025/3期末	増減額
流動資産	16,464	15,339	△1,125
現金及び預金	12,337	11,359	△978
売掛金	1,731	2,047	315
その他	2,394	1,932	△462
固定資産	15,103	23,022	7,919
有形固定資産	965	8,248	7,283
無形固定資産	207	192	△15
投資その他の資産	13,929	14,581	652
（匿名組合出資金）	1,466	1,288	△177
（差入保証金）	11,934	12,694	760
資産合計	31,568	38,361	6,793

	2024/3期末	2025/3期末	増減額
流動負債	4,257	4,428	171
買掛金	437	515	78
賞与引当金	420	326	△94
その他	2,759	2,846	87
固定負債	7,433	10,897	3,463
負債合計	11,690	15,325	3,634
株主資本	19,873	21,477	1,604
その他包括利益累計額	3	△2	△6
非支配株主持分	0	1,560	1,560
純資産合計	19,877	23,035	3,158
負債純資産合計	31,568	38,361	6,793

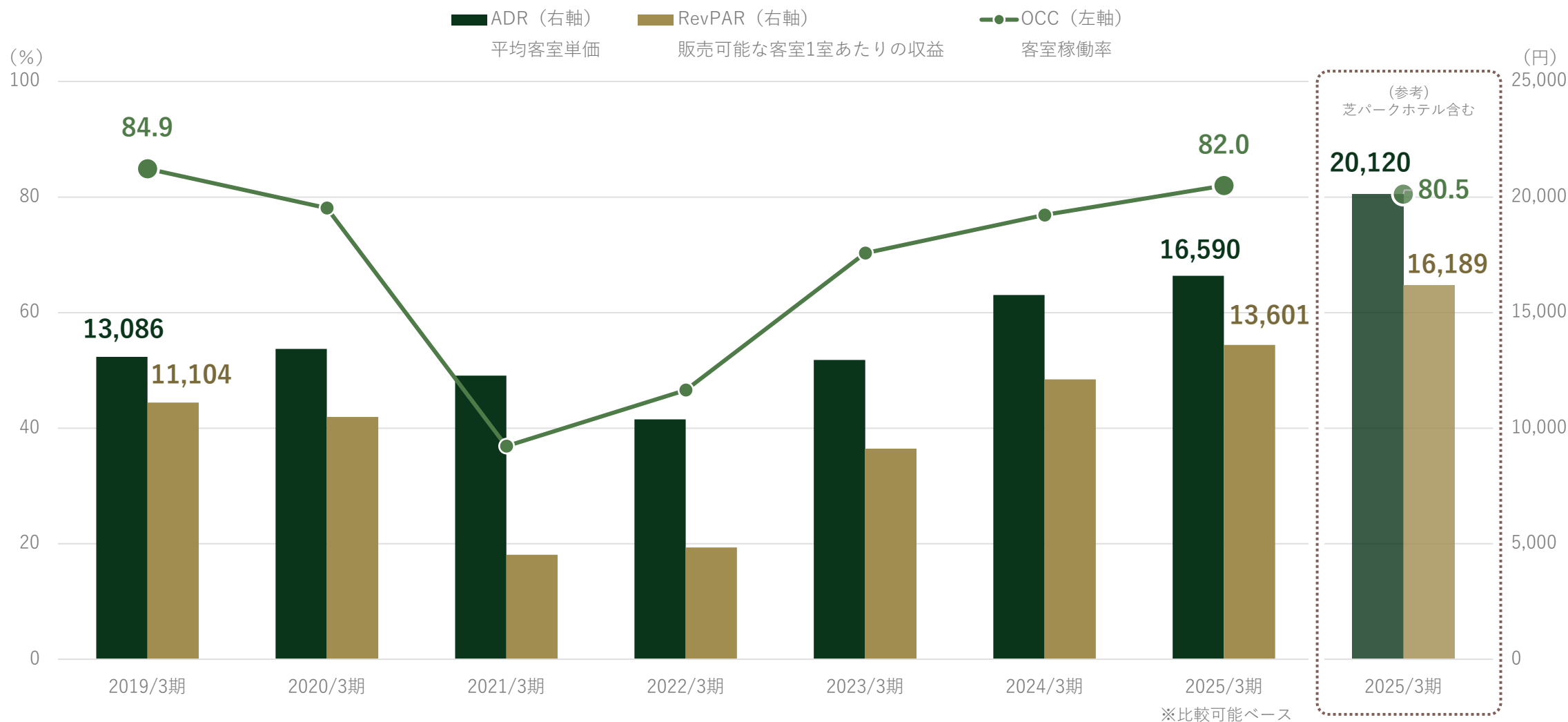
|| ホテル事業の利益の計上で、営業活動によるキャッシュフローが改善。

単位：百万円

	2024/3期末	2025/3期末	増減額	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,624	1,204	2,829	税金等調整前当期純利益増による増
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△3,799	△3,321	子会社株式の取得による減
フリーキャッシュ・フロー	△2,102	△2,594	△491	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36	△260	△223	配当金の支払いによる減
現金及び現金同等物の期末残高	12,221	11,184		

客室稼働率・平均客室単価・RevPAR推移

Ⅱ インバウンド宿泊客の増加を背景に、平均客室単価および客室稼働率は引き続き上昇基調を維持。



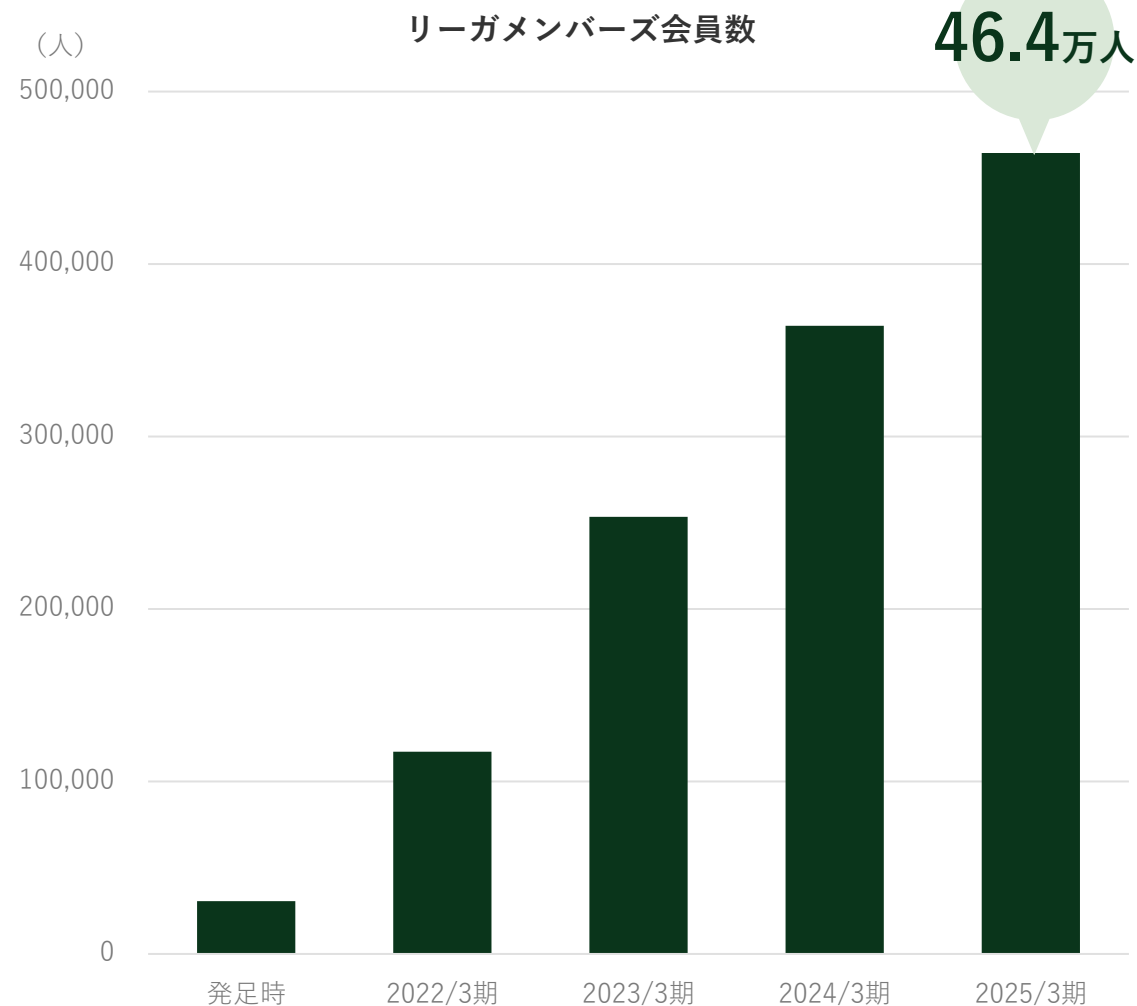
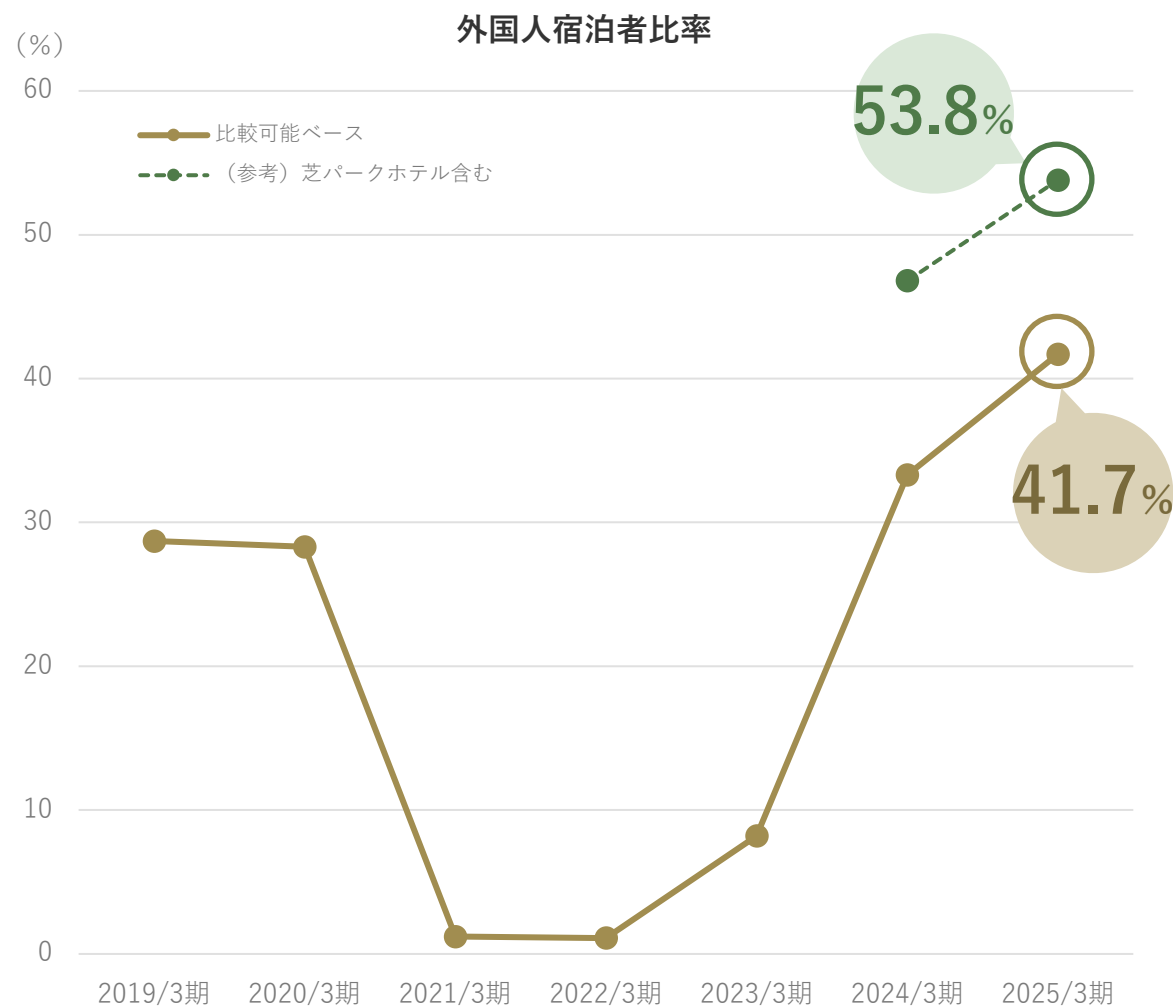


外国人宿泊者比率、リーガメンバーズ会員数推移

10

|| 2025年3月期はインバウンド需要活況により外国人宿泊者比率は40%台へ上昇。SPH社合算では50%を超過。

|| リーガメンバーズ会員は2025年3月期46万人を突破。2025年4月より芝パークホテルでのポイントプログラムも開始。





2. 2026年3月期 業績予想

2025年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル



2026年3月期 連結業績予想

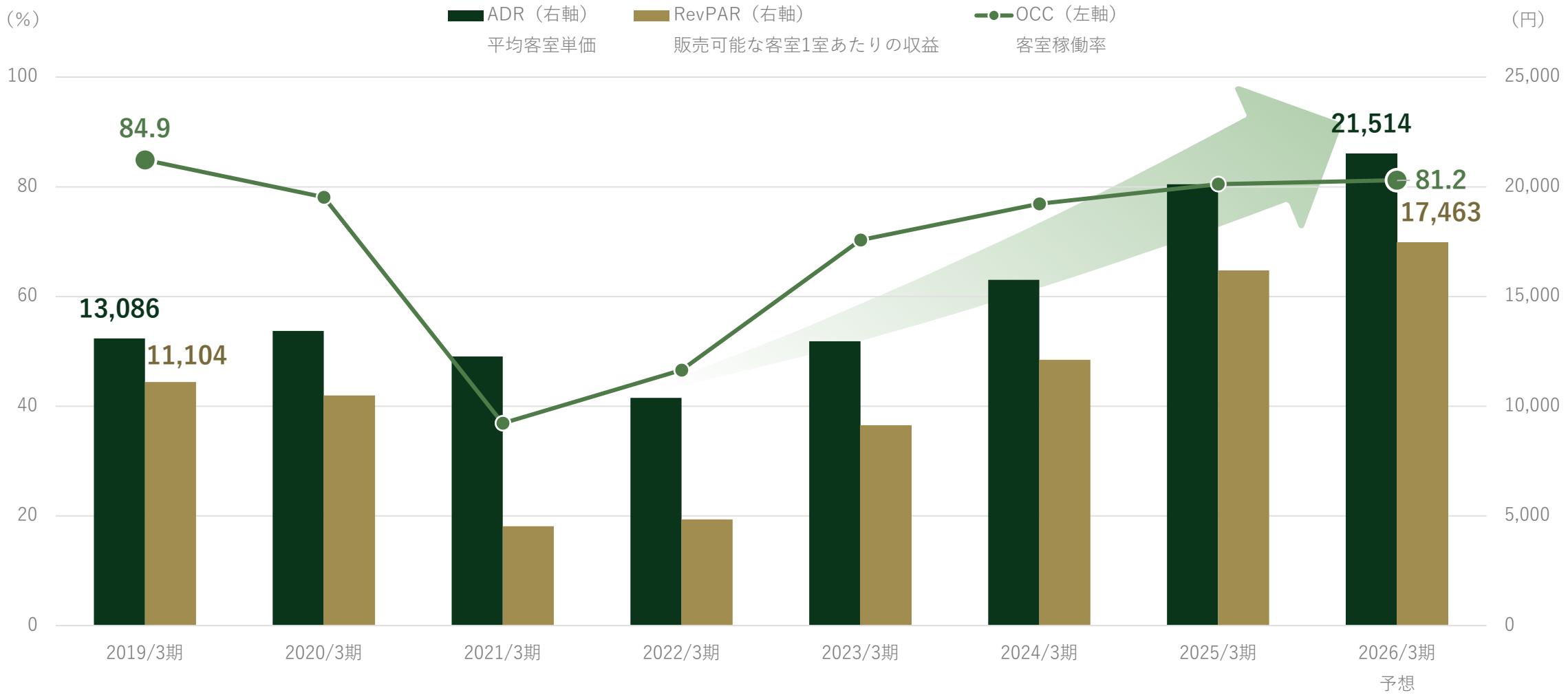
- || 沖縄北谷、大阪なんばの2ホテルの開業初期費用（約5億円）を吸収し、営業利益はほぼ横ばいを目指す。
- || 前期計上の負ののれんの特別利益の消滅により、当期利益は減少。

単位：百万円

	2025/3期 実績	2026/3期 予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	25,164	29,200	4,036	16.0
営業利益	912	900	△12	△1.3
経常利益	796	900	104	13.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,726	400	△1,326	△76.8

客室稼働率・平均客室単価・RevPAR推移（予想）

|| 海外向けセールスに注力。引き続きインバウンド宿泊者数の増加を見込み、RevPARは前期比7.8%増の計画。



※比較可能ベース（2025/3期以降、芝パークホテルを含む）



3. 変化のはじまるロイヤルホテル

2025年3月期 決算説明会

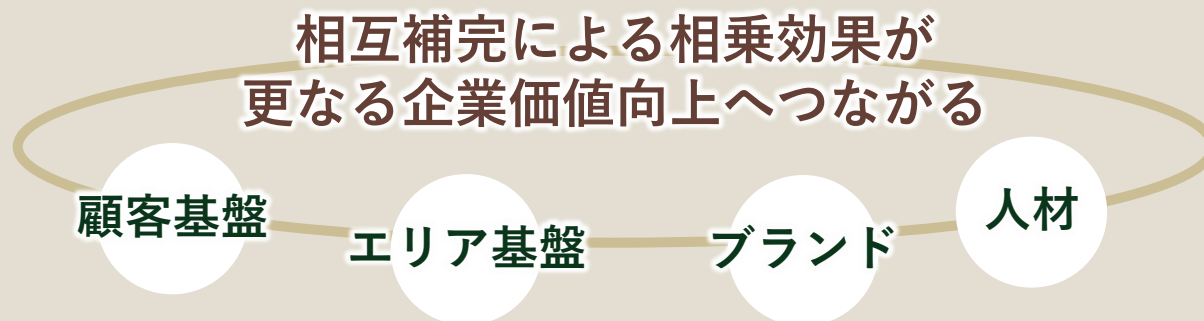
株式会社ロイヤルホテル



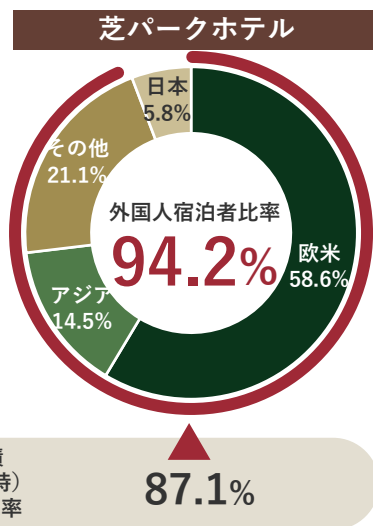
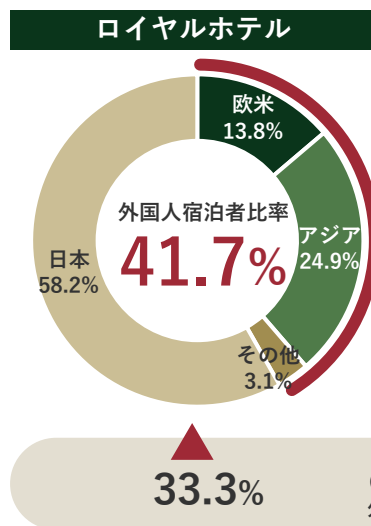
芝パークホテルとの資本業務提携契約（2024年11月）

15

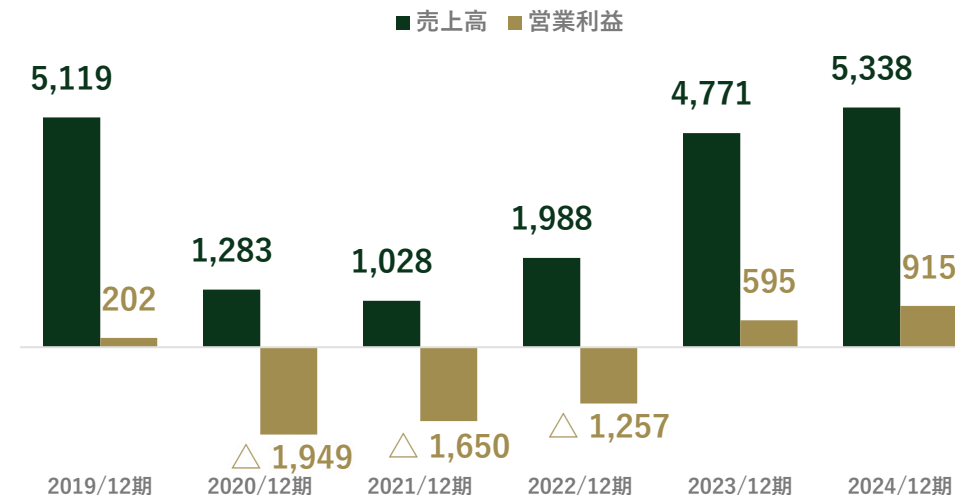
- || 当社と株式会社芝パークホテルとの間で資本業務提携を締結、同時に株式を取得し子会社化（出資比率：79.1%）。
- || インバウンド需要の取り込みと東日本での拠点充実によるグループ力の強化を図るべくシナジー創出施策を推進中。



宿泊客地域別構成（%）（2024年度実績）



（株）芝パークホテルの業績推移



海外セールス & マーケティングの強化①

- || 2024年度 外国人宿泊者数は前期比32%増加。それに伴い客室単価（ADR）は5.2%改善。（芝パークホテル除く比較可能ベース）
- || 2025年度は下記取組を更に推進し、海外エージェントからの直予約ルートによる高単価インバウンド顧客の獲得に注力。

個人セールス

FIT*セールス

- ・ 新興オンライン旅行会社も含めた新規チャネル開拓（20社増を目指す）



* FIT : <Foreign Independent Traveler (Tour)>
団体旅行やパッケージツアーを利用しない、個人または少人数の旅行者

団体セールス

- ・ 海外エージェント（代理店）の新規開拓等により、欧米を中心に団体受注が
2024年度はコロナ前の2018年度比129%

2018年

129%増

2024年

市場全体

インバウンド マーケティング

- ・ アジア各国で強みを持つSNSでの公式アカウント開設準備中
- ・ 海外エージェント向けのセールスツールを整備

海外業務 委託先開拓

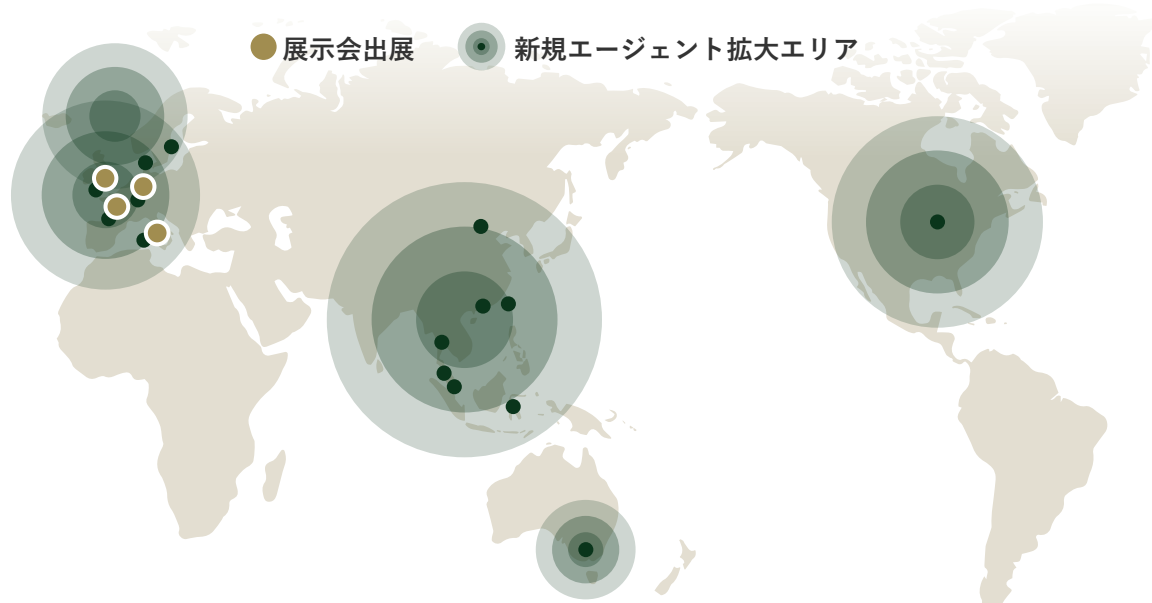
- ・ インバウンド事業部の立ち上げにより、芝パークホテルと連携し、従来間口が無かった欧州の営業委託先とコンタクト実施



海外セールス & マーケティングの強化②

- || インバウンド事業部で外国人営業員を登用し、海外セールス力強化（2025年度は前期比約3倍の海外向け商談を予定）。
- || SPH社のコネクションを活用した欧州向け等、高価格帯・連泊が期待できるマーケットの掘り起こしを狙う。

欧州旅行展示会への出展の他、新規エージェント拡大加速



2025年度海外セールス & マーケティング強化対応予定

訪問予定国

訪日外国人1人当たり宿泊費支出
(全目的)

支出額上位10か国

1	英国	169,708
2	豪州	162,803
3	ドイツ	151,557
4	フランス	148,420
5	スペイン	147,328
6	イタリア	146,699
7	米国	142,256
8	カナダ	125,112
9	ロシア	122,328
10	シンガポール	109,422

全国籍・地域平均 **76,743円**
(総額の33.8%)
※支出総額226,851円

訪日外国人平均宿数
(観光・レジャー目的)

宿泊数上位10か国

1	ドイツ	15.5
2	フランス	15.1
3	豪州	13.7
4	スペイン	13.6
5	イタリア	13.0
6	英国	12.6
7	カナダ	12.4
8	ロシア	10.9
9	米国	10.6
10	インド	9.7

全国籍・地域平均 **6.9泊**

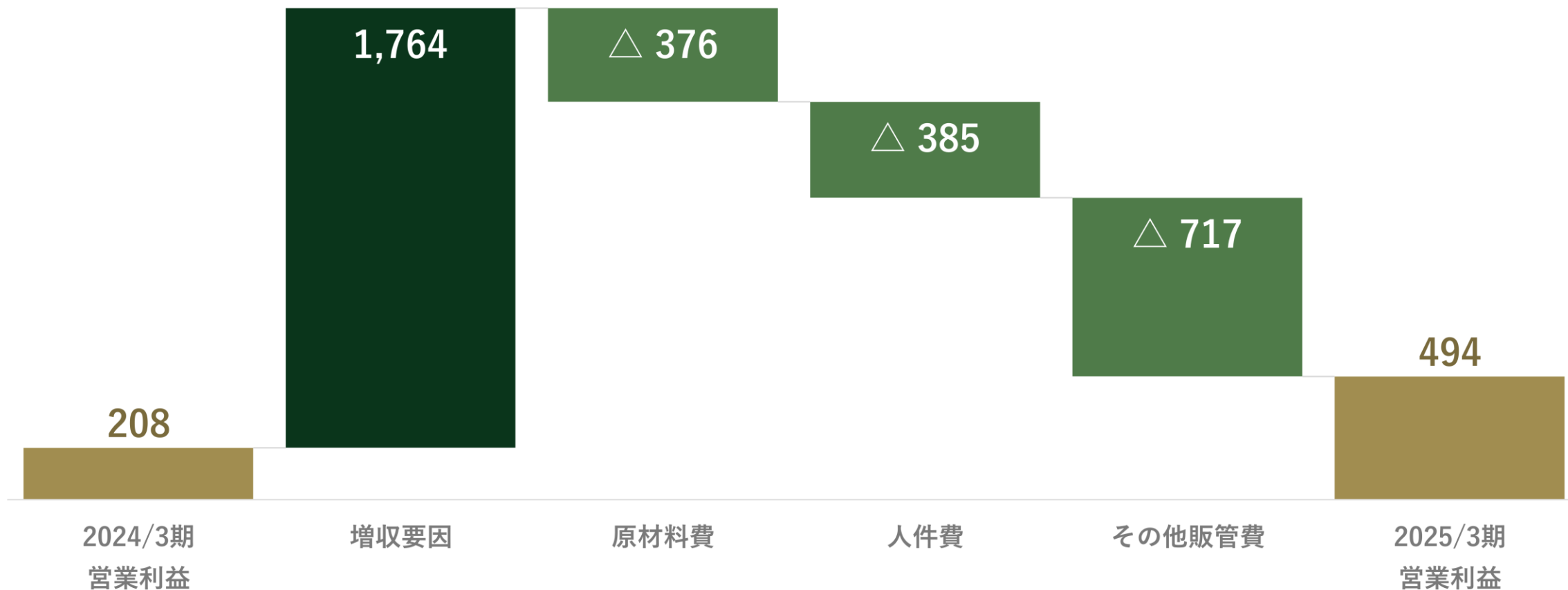
(出所) 国土交通省 観光庁「インバウンド消費動向調査」2024年暦年調査結果

基盤強靱化による収益性の改善（既存ホテルの収益力強化）

既存ホテルの定期的な改修の実施によるホテルブランドの維持向上。

原材料高騰の価格転嫁や、空き区画へのテナント誘致にも成果あり、既存ホテルの収益力は改善。

直営ホテル6店の営業利益増減分析（百万円）



基盤強靱化による収益性の改善（人的資本の活性化）

19

|| 収益最大化のため、DX推進と人事制度改革を両輪として人的資本を活性化する。

DX推進

定型業務効率化
非接客業務の削減

接客人員比率向上
顧客接点の拡大

高度業務補助
高付加価値サービス提供の
サポート



ビジネスモデル

アセットライトな運営

複数ブランド展開

高効率運営を基本に、
高付加価値化することで
複数ブランド展開を行う

収益の最大化

人事制度改革

職務内容の明確化

評価の透明化

キャリア自律の推進

コース別人事

多様な働き方の提供

専門職人材の育成強化

|| 多数の客室・レストランを備えたグランドホテル運営で培ったブランド力と多くのプロ人材を背景に、2035年までにホテル数及び営業利益の倍増を狙う。

出店戦略

徹底した立地の検討

初期コストの抑制
(投資回収期間)

業績リスクの抑制
(変動賃料)

一定の
GOP/規模感の確保

GOP：ホテル業務総利益

既存ホテル



グランドホテル

リーガブランドの象徴であり、信頼の源泉

固定割合高

150～250億円

固定費は高いが好況時はアップサイドが期待

ホテルタイプ

位置付け

賃料条件

初期投資

特徴

新規出店ホテル



宿泊主体型ホテル

成長ドライバーであり、利益の源泉

変動割合高

3～5億円

省人化で固定費抑制、リスクを抑え早期収益化

ドミナント出店推進と東日本エリアの出店拡大

21

|| 中期経営計画2026「ReRISE」成長戦略：ドミナント出店の推進。リーガロイヤルホテルグループの拠点数19拠点に。

|| 公表済の新規4拠点に加え、新たに国内5拠点で具体的な出店協議が進行中。新リゾートブランドも誕生予定。

Coming soon **新リゾートブランド誕生**
2028年1月（2025年6月発表予定）
観光の拠点として、地域のお客様の憩いの場として、
上質なおもてなしで街の新たなにぎわいを創出

メインターゲット 国内外の観光客 ブランドカテゴリー ● リゾート

new
広島
平和大通り

2027年秋頃
● リミテッドプラス



new
アُنカード・バイ・リーガ
大阪なんば

2026年春頃
● Xカテゴリー

ANCHORED
by RIHGA



new
バウンシー・バイ・リーガ
福岡博多

2026年秋頃
● Xカテゴリー

BOUNCÉE
by RIHGA



	拠点数
● 既存ホテル	15
● 新規出店ホテル	4
● 協議検討中	5
● ドミナント出店	

new
リーガロイヤル
リゾート沖縄北谷

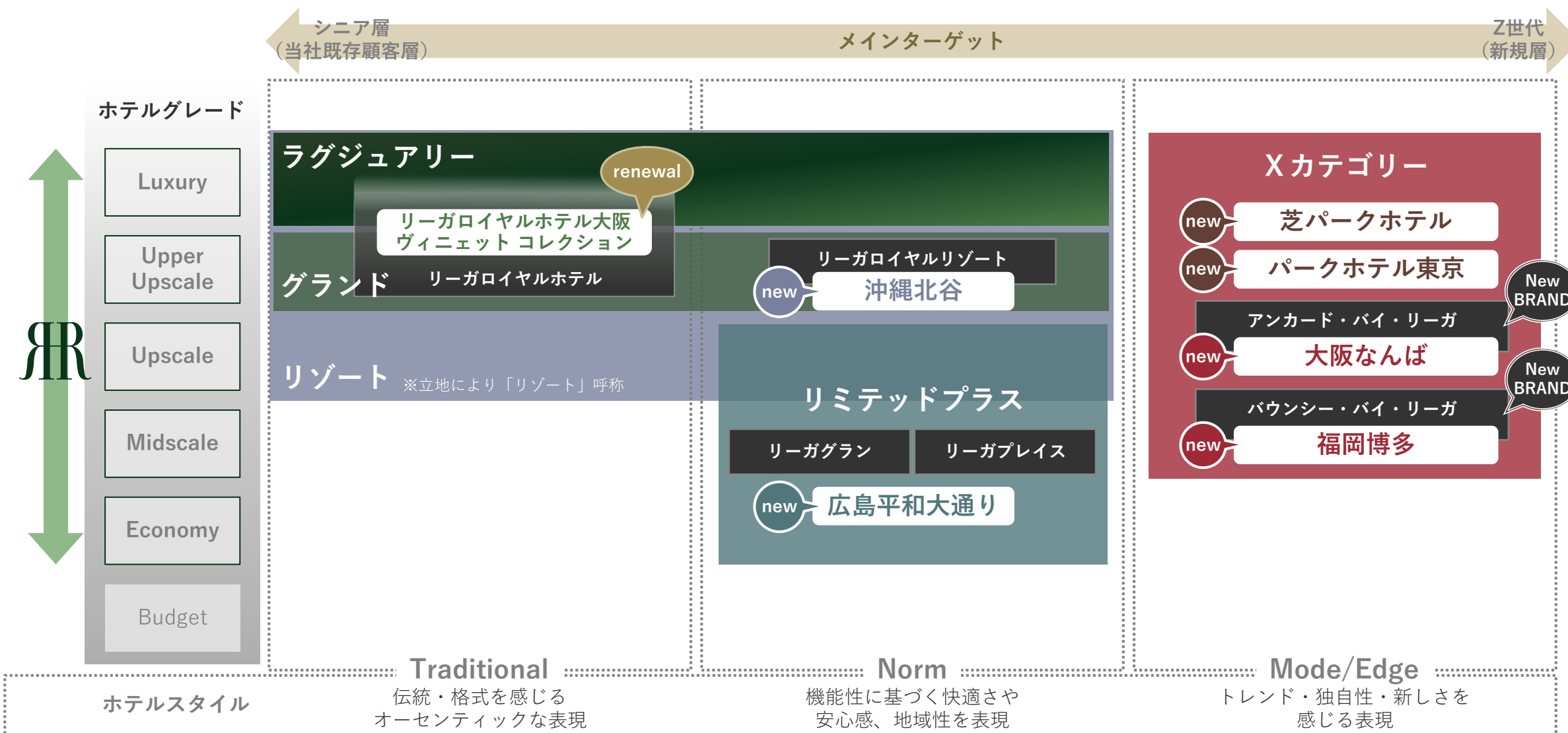
2026年春頃
● リゾート





(ご参考) ブランドカテゴリー

22



フラッグシップホテルのリブランドオープン

|| 2025年4月1日 リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション*としてリニューアルオープン。

* インターコンチネンタルホテルズグループのラグジュアリーコレクションブランド

BGO社によるリニューアル資金135億円投入



コシノジュンコ氏の手掛けた新しいユニフォームへ



大阪・関西万博 迎賓館運営業務

|| 世界の賓客に対する接客や食事提供を請け負う迎賓館運営業務を1970年大阪万博に引き続き受託。

|| 万博開催期間中の関西エリア当社ホテルの宿泊予約数は昨年比約3倍で推移。



4月	14	18	19	21	22	23	24	27	28	29
	トルクメニスタン	トンガ	グレナダ	ボリビア	スイス	トルコ	デンマーク	ガイアナ	パラオ	チャド
5月	1	2	3	5	7	10	11	12	13	14
	北マケドニア	ブータン	サンマリノ	ポルトガル	ヨルダン	ギニアビサウ	バングラデシュ	チリ	大韓民国	スウェーデン
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	スペイン	カナダ	ブルガリア	パラグアイ	ラトビア	オランダ	英国	オーストリア	ハンガリー	タンザニア

上場維持基準の充足と投資家層の拡大・IR強化

|| 大株主による株式売出を実施。株式の流動性を高め、スタンダード市場の上場維持基準を充足いたしました。

|| 個人株主数は2,020名増（2024年3月末比）。今後も、より多くの投資家の皆様にご支持いただける取組を行って参ります。

上場維持基準を充足

	上場維持 基準	2024/3/31		2025/3/31	
株主数 (人)	400	12,087	○	13,875	○
流通株式総額 (億円)	10	29	○	42	○
流通株式数 (単位)	2,000	26,954	○	41,498	○
流通株式 比率 (%)	25.0	17.6	×	27.1	○

投資家層の拡大・IR強化

株式所有比率/個人投資家

16.6%

2024/3期



25.8%

2025/3期

従来少なかった関東圏の株主数の
割合が24%へ増加。

関東
24%

芝パークホテルとの連携も含め、
関東圏での認知度・ファン層の拡大に注力。

コーポレートサイトリニューアル

当社をより多くの投資家の皆さまに
ご理解いただくため、積極的に
情報開示の充実に注力

個人投資家の皆さまへ



|| 長期保有株主へのインセンティブ制度新設に加え、90周年を記念した株主様への謝恩キャンペーンを実施します。

基本方針

利益還元を経営の重要課題と考え、
安定配当を行う

配当金

配当金	2025年3月期	2026年3月期（予想）
1株当たり配当金	5円	5円
配当性向	4.6%	25.5%

株主優待制度の充実

株主優待券に加え、実店舗・オンラインショップの両方でご利用いただけるリーガポイントを新たに進呈。
遠方のお客様にも、ご家庭でホテル伝統の味をお楽しみいただけます。

優待内容 保有株式数	リーガポイント（ポイント）	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
500～999株	5,000	7,000
1,000株～	10,000	12,000

株主優待制度の充実によりファン株主の増加を期待

90周年 株主様 謝恩キャンペーンの実施

リーガメンバーズアプリにご登録いただいている株主様を対象に、ご応募いただいた方の中から抽選で計90名様に、リーガメンバーズポイントを贈呈。

対象

2025年9月末時点の株主様

贈呈ポイント

A賞 10万ポイント（5名様）

B賞 5万ポイント（10名様）

C賞 5千ポイント（75名様）



※詳細は第100期中間報告書にてご案内（2025年12月発送予定）



4. 中期経営計画の進捗状況

2025年3月期 決算説明会

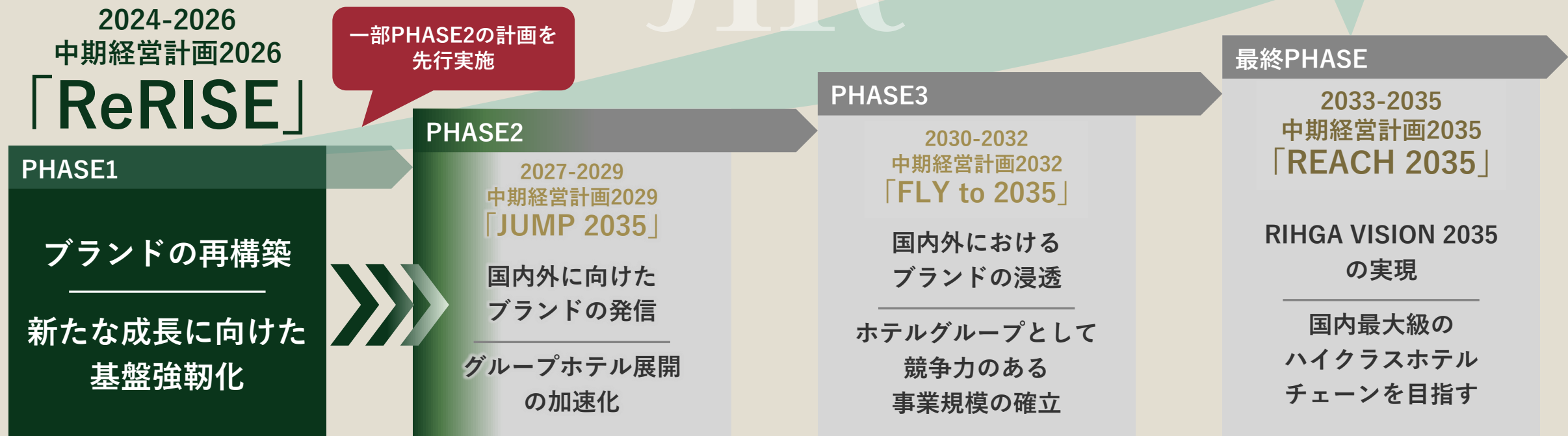
株式会社ロイヤルホテル

RIHGA 中期経営計画2026「ReRISE」の位置づけ

28

- || 来たるべきホテル開業100周年にあたり、「RIHGA VISION 2035」を策定し、持続的成長を目指す。
- || 前期からの3年間は「RIHGA VISION 2035」の実現に向け、経営基盤・事業基盤の強靱化を行う「ReRISE」期と位置付け、中期経営計画2026を推進する。

RIHGA VISION 2035



中期経営計画2026「ReRISE」

戦略1

ホテルブランドカテゴリーの
再編成・新規展開

芝パークホテル資本業務提携

新規出店・候補 計9軒

海外セールス & マーケティングの強化

人的資本の活性化

大阪・関西万博 迎賓館運営業務

戦略2

ホテル事業のバリューアップ

芝パークホテル資本業務提携

新規出店・候補 計9軒

海外セールス & マーケティングの強化

人的資本の活性化

大阪・関西万博 迎賓館運営業務

戦略3

インオーガニックな成長も視野に入れた
新規出店パイプラインの拡大

芝パークホテル資本業務提携

新規出店・候補 計9軒

海外セールス & マーケティングの強化

人的資本の活性化

大阪・関西万博 迎賓館運営業務

資本コストや株価を意識した経営

流動株比率の向上とファン株主の増加

株式の売出による投資家層の拡大

株主優待制度の充実

IR活動の強化

HPリニューアル



5. Appendix

2025年3月期 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

パーパス

人を、地域を、日本を、世界を、
あたたかい心で満たしていこう。

RIHGA VISION 2035

安心のサービスと感動のおもてなしで世界中のお客さまの期待を超える
日本最高峰のホテルグループ

信頼と期待

時代を超えて「受け継ぐ価値」

あたたかいおもてなし

美味しい料理

心地よい空間

時代と共に「進化していく価値」

利便性の向上

多様性の尊重

安心安全の追求



マーケットの見通しと当社の展開

|| インバウンド需要を中心に国内マーケットの活況が見込まれ、各地で国際的なイベントの開催や注目施設の開業も予定。



訪日外国人観光客※
2030年
6,000万人目標

(参考)

2024年	3,687万人
2022年	383万人
2019年 (コロナ前)	3,188万人

なにわ筋線開通
関西国際空港拡張

北海道新幹線
全線開業

2030年

2030年以降

2027年

2026年

2025年

大阪・関西万博
開催

沖縄北部
テーマパーク
JUNGLIA(ジャングリア)
開業

世界陸上開催
(東京)



アジア大会開催
(愛知)



国際園芸博開催
(横浜)



ワールドマスタース
関西開催



IR開業 (大阪)



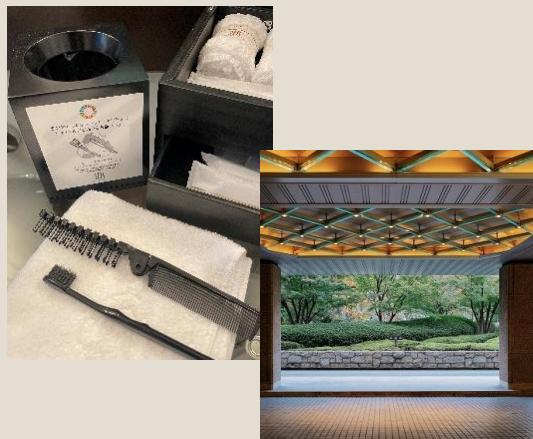
KAMISEYA
テーマパーク開業
(横浜)

※出所：「明日の日本を支える観光ビジョン」首相官邸2016年3月

|| サステナビリティ委員会を設置し、直接経営に反映できる体制を整備。

事業活動を通じた 環境保全への取組

- ・ 脱プラスチック
（リサイクル、リデュース）
- ・ 節水・省電力機器への転換
- ・ エコ清掃の呼びかけ
- ・ 食材ロスの削減



DE&I※を軸とした 働きやすい・ 働きがいのある 環境づくり

- ・ 女性活躍の推進
- ・ 育児・介護休業取得の推進
- ・ 健康戦略MAPに基づく施策の推進
- ・ 学習機会支援
- ・ 多様性の推進



※DE&I（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）：「ダイバーシティ＆インクルージョン」＋「公平／公正性（Equity）」

地域社会と積極的に関わり、 地域の魅力を発信

- ・ 地域催事への協力
- ・ 周辺清掃活動
- ・ 地元製品の提供
- ・ 中高生への学習提供
- ・ 周辺施設との提携



「安心・安全」を守る 組織づくりの推進

- ・ 取締役の多様性担保
- ・ コンプライアンス研修の実施
- ・ 自然災害への備え
- ・ バリアフリーの推進
- ・ 人権ポリシーの策定
- ・ 食の安全への取り組み





社名	株式会社ロイヤルホテル
本社所在地	大阪府大阪市北区中之島5丁目3番68号
創立年月	1932年（昭和7年） 2月
開業年月	1935年（昭和10年） 1月
代表取締役社長	植田 文一
資本金	1億円
発行済株式総数	15,303,369株（東証スタンダード上場）
従業員数（連結）	1,985名（2025年3月31日時点）
事業内容	宿泊施設の経営、食堂・宴会場の経営、スポーツ設備の運営、食料品の販売

|| 国賓をはじめ国内外のお客様をお迎えするホテルとして誕生。

|| 2023年にはホテル運営に特化した企業として新たなスタートを切り、2035年には創立100周年を迎えます。

1932～ 大阪に近代的ホテルを

1932	株式会社新大阪ホテル創立
1935	新大阪ホテル開業
1959	都市センターホテル開業
1965	リーガロイヤルホテル（大阪）開業（旧大阪ロイヤルホテル）
1967	株式会社ロイヤルホテルに改称
1969	リーガロイヤルホテル京都（旧京都グランドホテル）開業
1970	日本万博博覧会（日本万国博覧会）（大阪開催）「迎賓館」および水上レストラン運営受託
1973	リーガロイヤルホテル（大阪）新館開業
1981	リーガプレイス肥後橋（旧中之島イン）開業

1990～ No.1ホテルグループに向かって

1990	グループ名をリーガロイヤルホテルグループに改称 国際花と緑の博覧会（大阪開催）「迎賓館」運営受託
	リーガロイヤルホテル新居浜開業
1992	リーガホテルゼスト高松営業開始
1993	リーガロイヤルホテル小倉開業
1994	リーガロイヤルホテル広島開業
	リーガロイヤルホテル東京（旧リーガロイヤルホテル早稲田）開業
1995	アジア太平洋経済協力（APEC）大阪会議

2000～ 磨かれる「おもてなし」の心

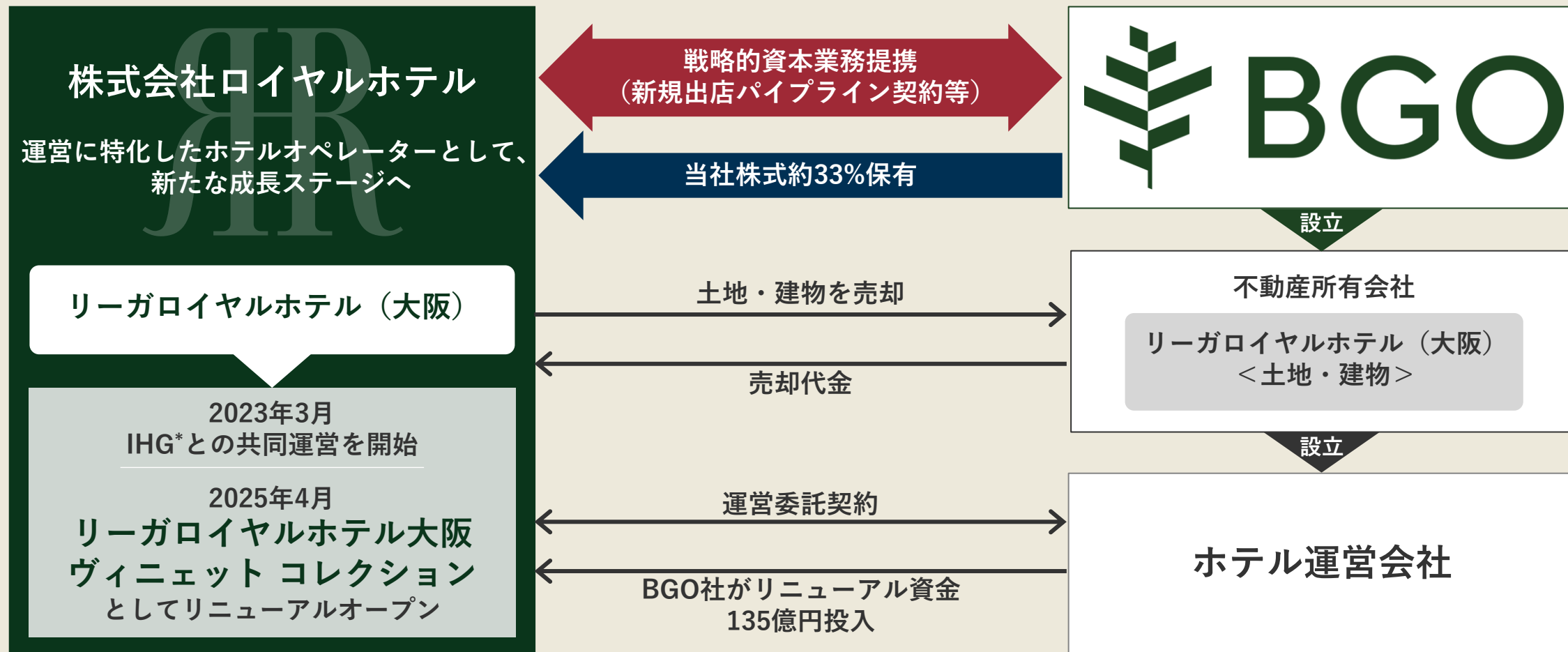
2008	G8 財務大臣会合
2012	リーガロイヤルグラン沖縄開業 SIBOS SWIFT International Banking Operations Seminar
2016	G7 北九州エネルギー大臣会合
2019	G20 大阪サミット
2020	リーガグラン京都開業
2022	リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート開業
2023	G7 広島サミット/G7 大阪・堺貿易大臣会合 リーガプレイス京都四条烏丸開業 「ベントール・グリーンオーク」との資本業務提携締結

2024～ 新たなステージへ

2024	芝パークホテルとの資本業務提携 芝パークホテル・パークホテル東京がグループに加わる
2025	リーガロイヤルホテル大阪ヴィニエツトコレクション開業（改装） 日本国際博覧会（大阪開催）「迎賓館」運営受託
2026	リーガロイヤル沖縄北谷 大阪なんば 福岡博多
2027	広島平和通り

BGOとの戦略的資本業務提携

- ベントール・グリーンオーク社（以下、「BGO」という）を不動産売却先、且つ戦略的資本業務提携先として選定。
- 「創業の地である中之島で、将来に亘ってホテル運営を続ける」という当社の想いを叶える提案内容が決め手。



*IHG：インターコンチネンタルホテルズグループ

外資系大手プレイヤーとの関係構築

BGO
(多店舗展開のパートナー)

パイプライン契約



アセット投資

優先的に

オペレーター契約を検討

ロイヤルホテル



当社が長い歴史の中で培ってきたホテルオペレーターとしてのブランド及び運営ノウハウを評価。

BGO

- カナダ大手生命保険会社グループSun Life Financial 傘下の、不動産プライベート・エクイティファンド運営会社
- 2023年6月末現在、世界28拠点、運用総資産約830億米ドル（約12兆円）
- 日本国内の不動産関連投資実績8,000億円程度。今後3,000億円超のホテルアセット投資を計画

IHG
(RRH大阪のパートナー)

共同運営



RIHGA ROYAL HOTEL

リーガロイヤルホテル（大阪）

2025年3月リニューアル完了

NIGNETTE™
COLLECTION

IHGのラグジュアリーカテゴリの中のコレクションブランド

ロイヤルホテル

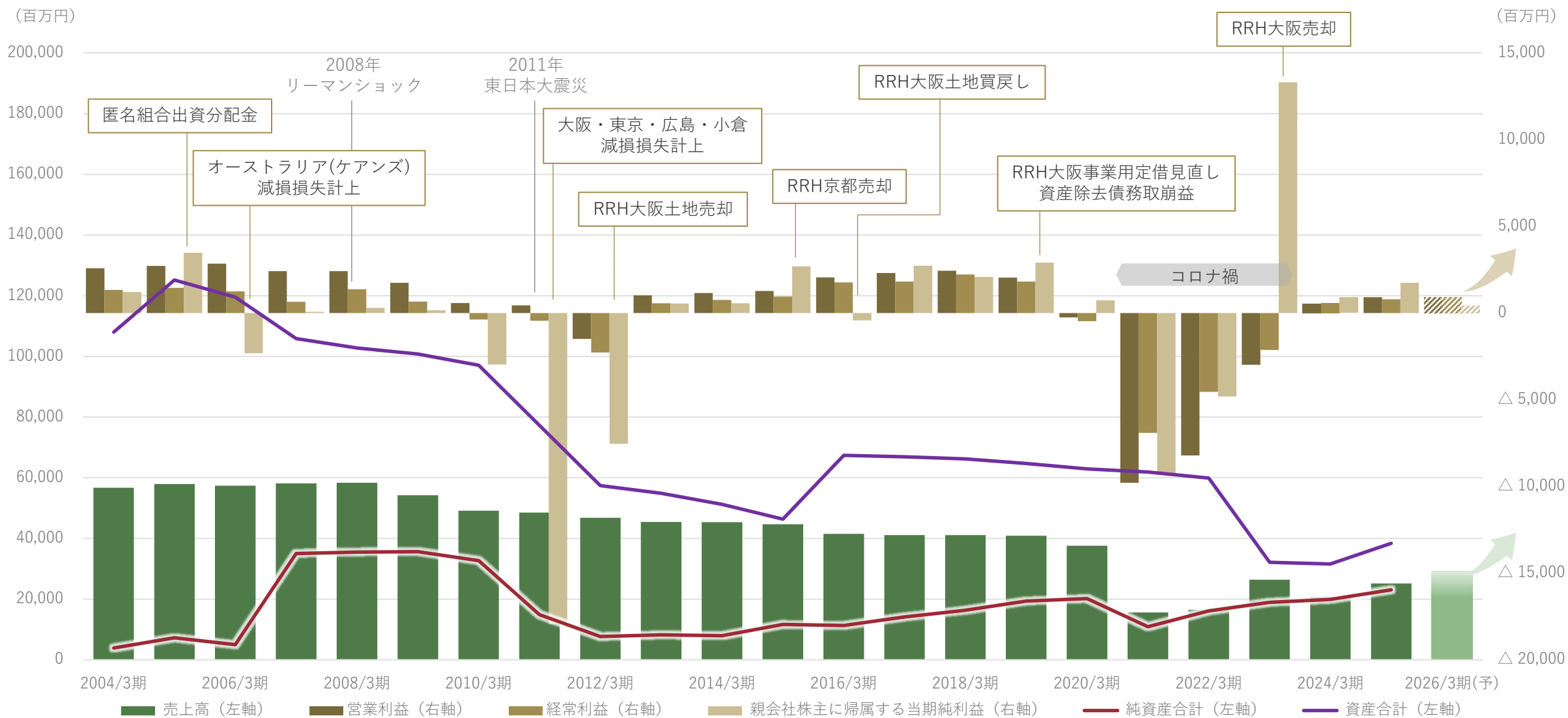


IHG
HOTELS & RESORTS

当社のアイデンティティを体現した旗艦ホテルであるリーガロイヤルホテル（大阪）の歴史と伝統を評価。

IHG

- インターコンチネンタルホテルズグループ
- イギリスに本部を置き、19ホテルブランドで世界100か国以上、6,000軒以上のホテルを展開する世界的なホテルグループ





※2017/9/26以前、株価・出来高調整済

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	41,076	40,884	37,601	15,638	16,465	26,397	20,668	25,164
客室	10,225	10,255	9,492	3,856	4,264	8,410	7,153	10,294
宴会	14,057	14,039	12,507	3,131	4,285	8,082	4,689	5,468
食堂	8,587	8,942	8,398	3,773	3,543	5,196	2,901	3,518
その他	8,206	7,646	7,202	4,876	4,371	4,709	5,924	5,882
売上総利益	30,792	30,532	28,188	11,633	12,470	20,675	17,059	21,076
販売費及び一般管理費	28,349	28,485	28,445	21,427	20,688	23,661	16,501	20,163
営業利益	2,442	2,047	△257	△9,794	△8,217	△2,986	557	912
経常利益	2,220	1,816	△465	△6,916	△4,550	△2,129	587	796
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,079	2,908	727	△9,334	△4,811	13,315	901	1,737
1株当たり当期純利益（円）	203.02	283.97	71.02	△911.34	△469.73	1,252.77	55.30	109.25
配当金（円）	—	—	—	—	—	—	5	5
自己資本当期純利益率（％）	13.7	16.3	3.7	△60.2	△35.7	76.0	4.6	8.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,379	3,790	1,087	△3,979	△4,100	81	△1,624	1,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	160	△1,590	△1,319	△1,128	53,419	△478	△3,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,316	△2,096	△1,515	7,482	4,033	△42,698	△36	△260
現金及び現金同等物の期末残高	2,735	4,589	2,570	4,754	3,559	14,361	12,221	11,184
従業員数（名）	2,038	2,049	2,036	2,059	1,832	1,678	1,726	1,985

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
流動資産	7,173	8,397	4,919	7,260	5,922	17,305	16,464	15,339
現金及び預金	2,737	4,591	2,572	4,756	3,561	14,363	12,337	11,359
固定資産	59,034	56,300	57,971	54,607	53,998	14,799	15,103	23,022
有形固定資産	44,665	42,869	42,991	42,159	41,452	812	965	8,248
無形固定資産	179	281	201	191	303	266	207	192
投資その他の資産	14,189	13,149	14,778	12,256	12,241	13,720	13,929	14,581
資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568	38,361
流動負債	7,859	7,417	6,379	40,098	8,711	5,387	4,257	4,428
短期借入金	1,615	1,567	2,010	35,058	5,400	—	—	89
固定負債	41,989	37,938	36,326	10,872	35,120	7,774	7,433	10,897
長期借入金	30,235	28,668	27,158	2,000	26,400	—	—	353
リース負債	458	262	271	139	87	38	38	191
負債合計	49,848	45,355	42,705	50,970	43,832	13,162	11,690	15,325
株主資本	16,660	19,568	20,295	10,961	16,149	18,972	19,873	21,477
その他包括利益累計額	△337	△300	△163	△64	△61	△29	3	△2
純資産合計	16,358	19,343	20,184	10,896	16,088	18,942	19,877	23,035
負債純資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568	38,361
1株当たり純資産（円）	129.10	416.71	501.13	△400.67	△870.09	829.40	890.58	995.22
自己資本比率（％）	24.7	29.8	32.0	17.6	26.8	59.0	63.0	56.0

お問い合わせ先

株式会社ロイヤルホテル

経営企画部

email：rh.ir@rihga.co.jp

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、様々な要因の変化によって、実際の業績等は記述されている内容と大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。



RIHGA ROYAL HOTELS

2025年3月期 決算説明会

2025年5月26日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713